

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会主催

まちづくり懇談会



令和5年5月19日/20日

次 第

1. 開 会 協議会からの挨拶
2. 懇談会
 - (1) オリエンテーション
 - (2) グループワーク
 - (3) 発表
3. 閉 会

オリエンテーション (全体説明)

【 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会とは 】

「赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会」は、地域内に居住する住民ならびに自治会、商店街会、PTA等関係者と北区が、地域に愛着を持ち、住み続けられるまちづくりを目指し、まちづくりの勉強会や情報等を交換し、互いに考え行動することで相互理解を深め、赤羽駅東口地区まちづくりの円滑な推進を図ることを目的として活動しています。

通常は、年度毎に総会で活動の方針定め、関係する団体等から選出された幹事により構成する幹事会を軸に活動を行っています。

「まちづくり懇談会」は、まちづくりに関する重要な事項について、より幅広く関係者等の参加を得て協議する場として、協議会会則に基づき実施するものです。

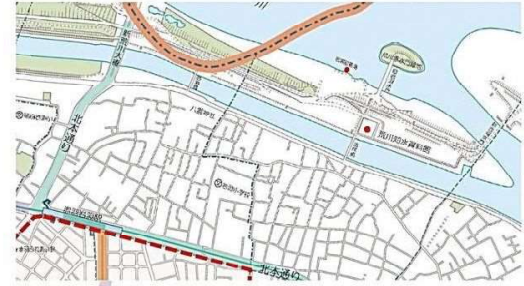


【 赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想 (H. 27年度) 】

赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想

【地図凡例】

- H① 赤羽八幡神社
- H② 八雲神社
- H③ 亀ヶ池弁財天
- 卍① 宝幢院
- 卍② 静勝寺(稲付城跡)
- Y 赤羽消防署
- 〒 赤羽郵便局
- 🍷 小山酒造
- 📍 赤羽区民事務所
- 🏛️ カトリック赤羽教会

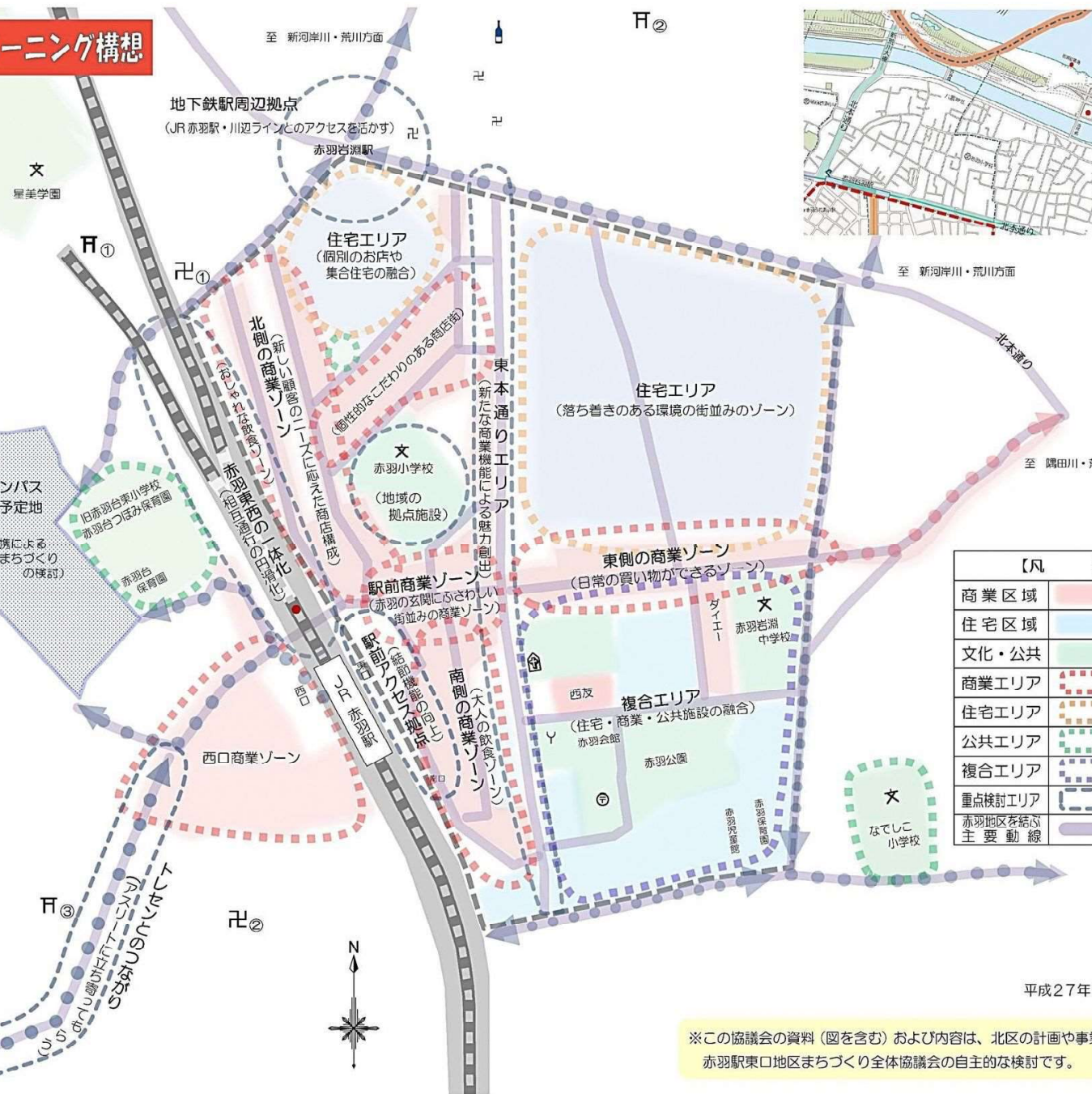


まちづくりのテーマ
にぎわいのある
住みやすいまちづくり

交流力
交通アクセスを活かした
まちづくり

きずな力
安全・安心でつながりのある
まちづくり

創生力
教育機関などと連携した
まちづくり



【凡例】	
商業区域	(Red solid area)
住宅区域	(Blue solid area)
文化・公共	(Green solid area)
商業エリア	(Red dashed border)
住宅エリア	(Blue dashed border)
公共エリア	(Green dashed border)
複合エリア	(Purple dashed border)
重点検討エリア	(Black dashed border)
赤羽地区を結ぶ 主要動線	(Purple solid line)

平成27年9月1日現在

※この協議会の資料(図を含む)および内容は、北区の計画や事業等ではなく、赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会の自主的な検討です。

【 幹事会グループワーク (H. 30年度) 】

● まちづくりと地域の拠点施設の関わりについて

ゾーニング構想においては、赤羽小学校周辺を「地域の拠点施設」として位置づけており、市街地再開発事業の検討が進む中で、地域の拠点施設とは現実的に、具体的にどのようなものがふさわしいかを多面的視点で考えるグループワークを2回にわたって実施。

- 第1回：赤羽小学校が現在の場所で存続した場合の拠点機能のあり方と留意すべき点
- 第2回：赤羽小学校を仮に現赤羽公園等へ移設した場合の拠点機能のあり方と留意すべき点

赤羽小が現在地にあることの長所・短所	赤羽小を仮に現赤羽公園等に移設した場合
<p>教育環境面で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学に適している ○赤羽小は歴史がある ○学校があることで環境の悪化を抑止している ○駅の近くに広いスペース(校庭)がある ○マーチング活動は今の環境だから練習できる ○小学校と飲み屋が共存できているのは赤羽らしさ ○町中に子供がいて、多くの人に見守られている ×環境が悪くなった ×日影が増えていきそう ×建設中の仮校舎が必要 	<p>教育環境面で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境が良くなる ○赤岩中との連携 ○赤羽会館(図書館)に隣接してる ○通学路が安全な状態で決めやすい ○今後子供が減るので建替は意味がある ○仮校舎が不要 ○防災面 ×通学路が心配 ×企業との調整 ×大規模なイベントが出来ない
<p>商店街からの視点で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベントの拠点として人が集まりやすい ○商店街の中の小学校と有名 ○整然な街並みがベスト △他から赤羽に来る人を増やすような施設が必要 △地域と一体となつての整備が必要 ×人の流れ、動線を分断している ×学校周りが暗くなりまちのバランスが悪くなる 	<p>小学校から拠点施設に変わることの影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ○周辺再開発部に容積率を加える ○公園について考える機会 ○商店街のイベントが行いやすい ○防災面(避難所) △駅からの利便性を有効に考えるべき ×環境 ×夜遅くまで騒ぐ人が増える
<p>再開発事業との関係で気になること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再開発は赤羽小ありきの発想で考えるべき ○飲食店は大事にしてほしい △複合化して再開発と共存できるのか ×低層にして明るく落ち着いた学校のイメージに ×学校と商業施設を一緒にしないでほしい ×安全に気を付けてほしい 	<p>現赤羽公園に小学校が移転することでの周辺への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学区の調整 ○交通の危険度が減る ×近隣住民の同意が難しい(公園がなくなる、騒音等)
<p>まちの拠点として必要な機能、相応しくない機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供たちが運動のしやすい施設 ○教育、文化、福祉、防災機能 ○防犯カメラの設置等の通学路の安全性 ○高齢者と子供が交流できるイベントスペース △教育環境と商店街の発展が両立するのか 	<p>拠点機能の分担、市街地環境形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自転車駐輪場 ○保育園 ○コンサートホール、文化等の施設 ○職業体験施設 ×駅の近くに公園
<p>小学校とまちの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭の広さ、ピオトープは残してほしい ・放置自転車、ゴミの散乱等の問題点を子供に体験学習 ・植物や樹木を小学校にたくさん植える ・イベントを通して多くの人が集まるまち 	<p>その他、考慮すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の校庭を公園化 ・公園が全てよしではない

【 グループインタビュー(R.元年度) 】

協議会では「協議会参加者だけでなく、より広く一般の方々のご意見を伺い、目指すべき方向性に反映していくこと」を目的に、グループインタビューを実施。異なる視点、立場から幅広い意見を収集するため、商業関係、自治会、PTAなどの団体ごとに、一団体5～10人程度の規模で、計10回にわたり、机を囲んで気軽にご意見を出していただく形式で実施。

～ グループインタビューでいただいた意見の概要 ～

対象団体	開催場所
・赤羽スズラン通り商店街復興組合 ・赤羽東口駅前商店会	赤羽スズラン会館
・赤羽二丁目自治会	赤羽会館第一集会室
・赤羽南自治会	赤羽南自治会館
・赤羽南一丁目団地自治会	赤羽南一丁目団地集会室
・赤羽小学校PTA ・赤羽岩淵中学校PTA	赤羽文化センター
・赤羽自治会	ネスト赤羽会議室
・赤羽駅東口駅前通り商店街振興組合	高橋氏事務所
・赤羽一番街商店街 ・赤羽OK横丁商店会	八百正事務所
・赤羽中央街商店街	赤羽中央街商店街事務所
・赤羽本町通り商店街	ネスト赤羽会議室

●市街地再開発事業に関して

- ・再開発ビルに期待することの意見としては、駐輪場、公共施設、文化施設、避難場所、家族向けの店などを望む意見が挙がっています。
- ・再開発ビルによる日影や風害、赤羽らしさを出している商店街がなくなることにに対する懸念なども示されています。

●生活環境に関して

- ・(インタビュー開催日の直近に大型台風が上陸したことから) 水害時の公的組織の対応、水害をはじめとした災害時に避難できる場所の確保、帰宅困難者対策等に対する指摘が多く出されました。
- ・赤羽公園を憩いの場として貴重だとする意見や、老朽化等から再整備等を求める意見が多く挙がっています。
- ・店舗の業種の変化や、ごみ出しのマナーなどに関する心配の声もありました。

●今後のまちづくりの方向性に関して

- ・時間的、範囲的に大きな視点に立って考えるべきというご指摘がありました。
- ・共通理解を持って話し合いを進めていくことが大事という意見が挙がっています。
- ・グループインタビューは理解できる人を広めるために良い機会というお声もいただきました。

●赤羽小学校に関して

- ・小学校の歴史や伝統の大切さに留意する必要性が指摘されました。
- ・再開発ビルによる日影等の影響を避けるため、改築時期を迎えている小学校の取扱いについて様々なご意見が挙がっています。
- ・商店街に囲まれた現在の立地について、見守りや防犯等の面からのご意見が挙がっています。
- ・公共施設、文化施設、商業施設との複合化や、防災・防犯機能の強化の点も言及されています。



【 再開発事業の事業化の動き 】



赤羽一丁目第一地区（約0.5ha）

平成28年6月に準備組合が組織され、その後、平成29年12月に準備組合設立届が提出された。

令和2年8月に再開発事業に係る都市計画決定が告示されており、敷地の高度利用と併せ、緑化等により憩いの空間となる公共空地や、約150台の公的駐輪場の整備が計画されている。

赤羽一丁目第二地区（約0.7ha）

平成30年5月に準備組合が組織された。
令和3年度に事業推進体制を強化し、権利者の合意形成等の取組みを進めている。

赤羽一丁目第三地区（約0.5ha）

令和元年10月に準備組合が組織され、その後、令和4年3月に準備組合設立届が提出された。
引き続き権利者合意形成を進めながら、具体的な計画検討に着手している。



整備イメージ図

<計画概要>

階数：26階・地下1階

高さ：約110m

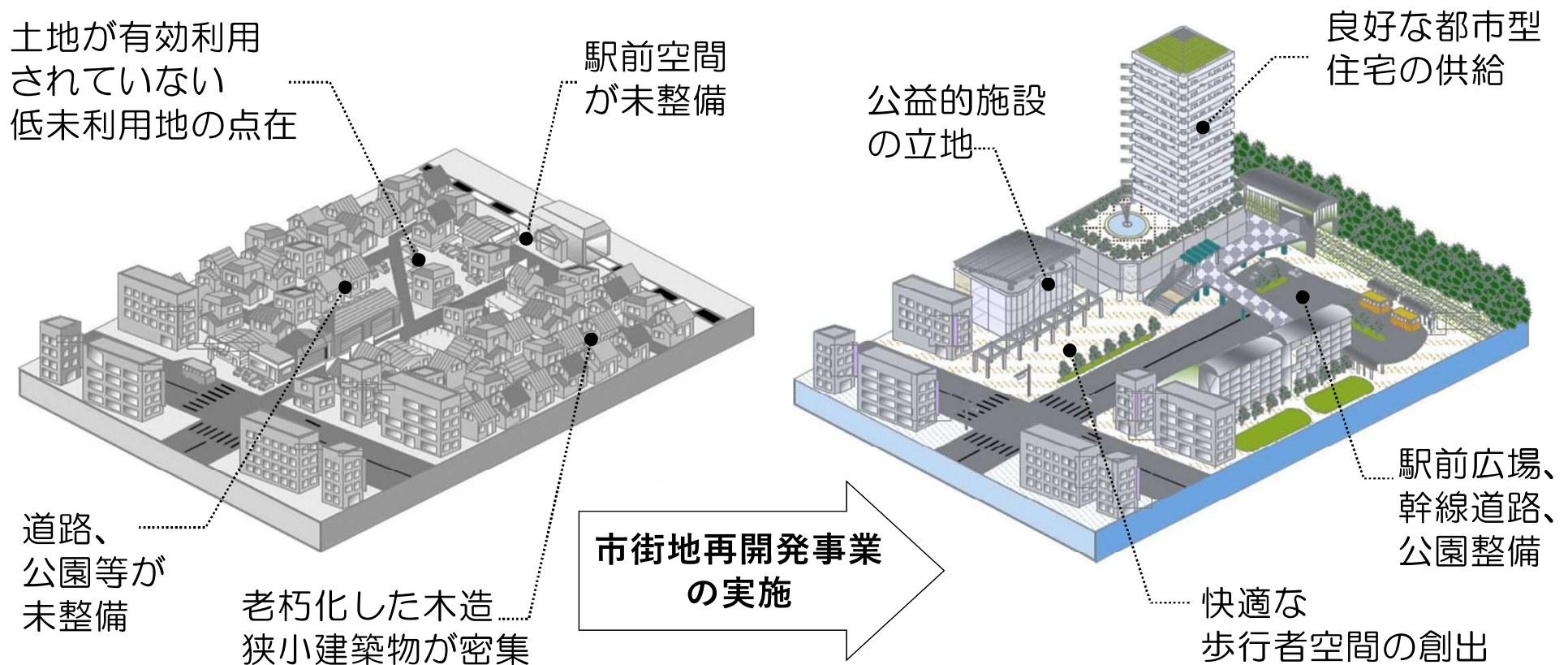
主な用途：

住宅約300戸、店舗、
公的駐輪場等

【 再開発事業の事業化の動き 】

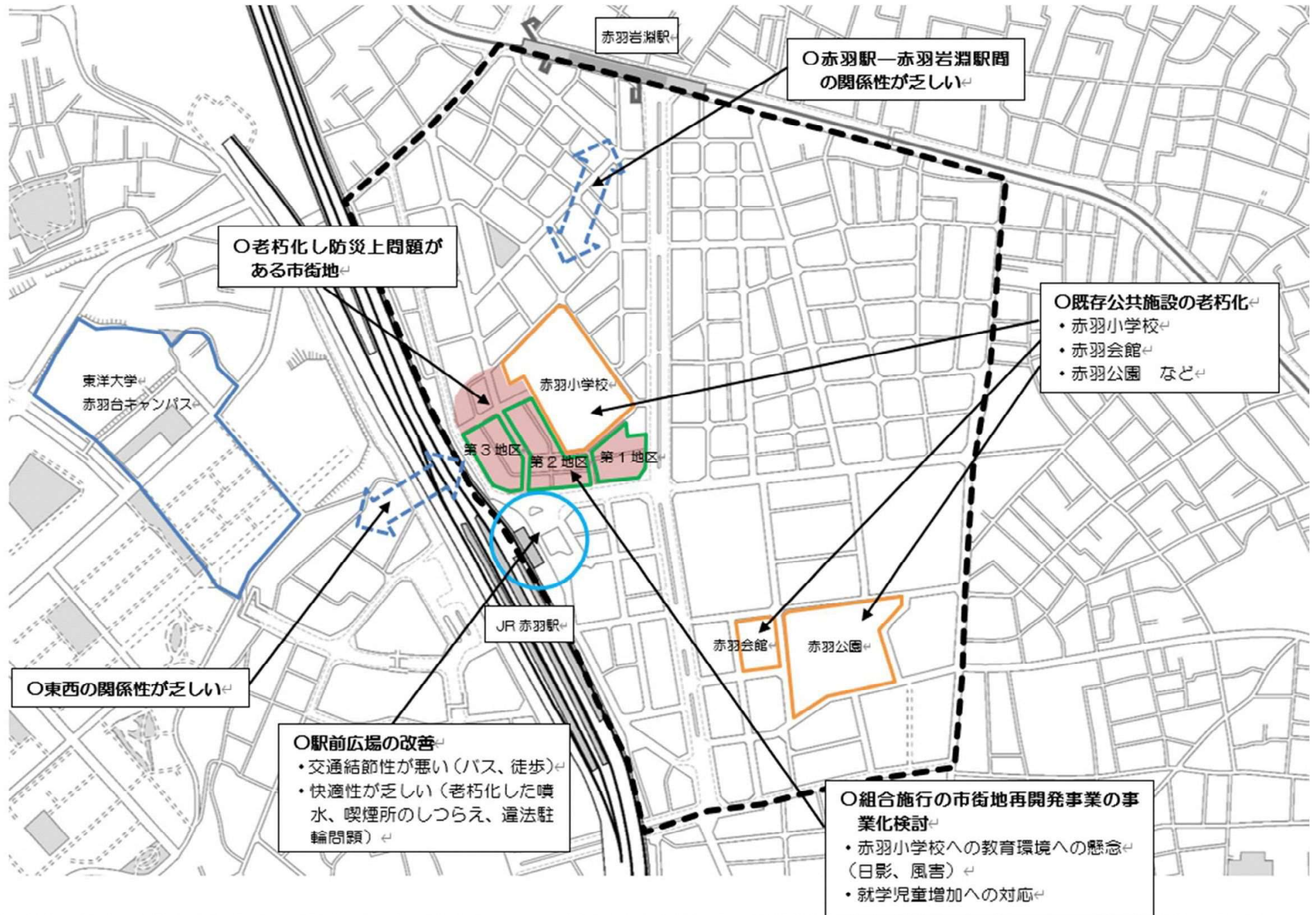
〈市街地再開発事業の一般的な目的・意義〉

土地の合理的かつ健全な高度利用と 都市機能の更新を図る



(出典：国土交通省ホームページ 「市街地整備制度の概要」より)

【 地区の現状と課題 】



【 (仮称)まちづくり提案の目的 】

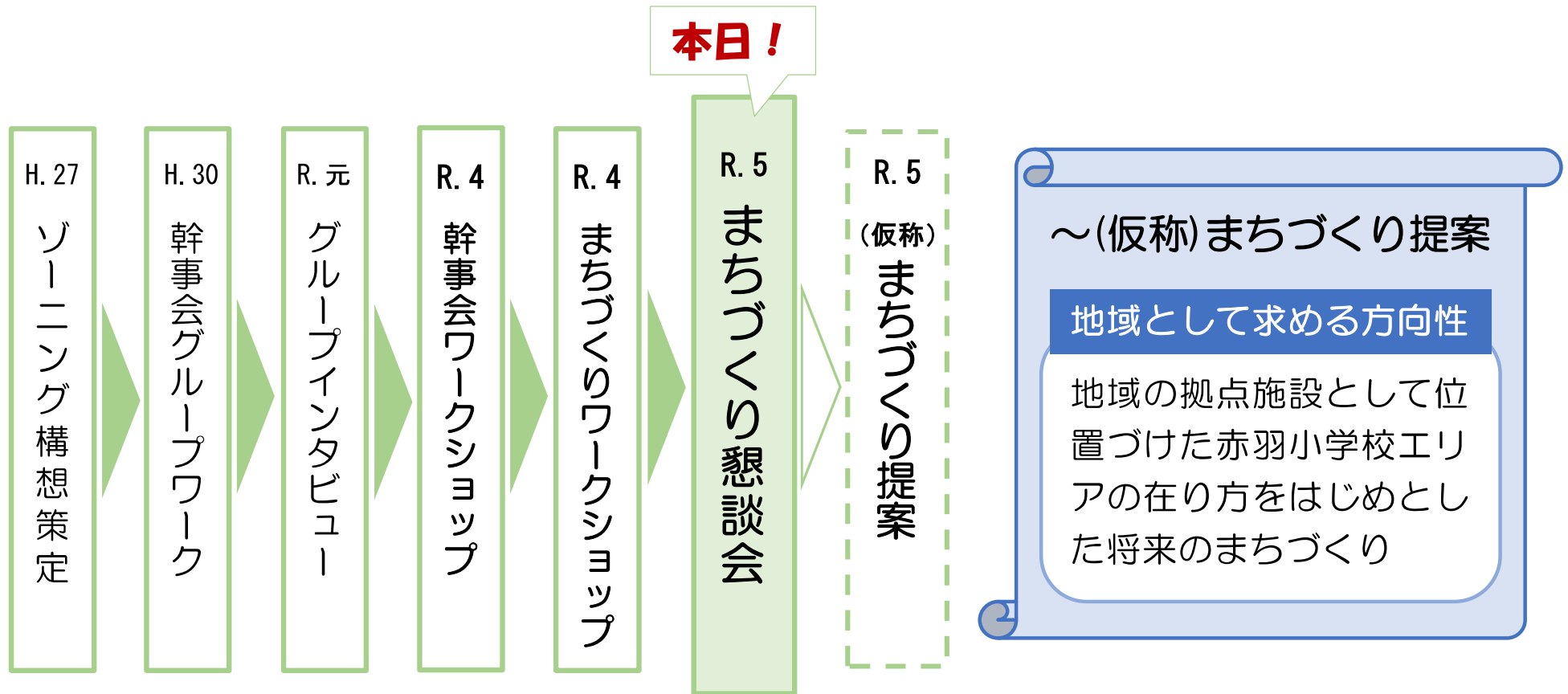
<令和3・4年度赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会活動方針>

1. 会長、副会長、幹事を中心に、引き続き住民と区が相互に、赤羽駅東口地区まちづくりの円滑な推進を図ります。
2. 協議会がまとめた「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」を具現化しながら、地域内で事業化が計画されている住民発意の市街地再開発事業の新たなまちづくりの進捗にあわせて、「地域の拠点施設（赤羽小学校）」の在り方をはじめ、将来のまちづくりについて一層具体的な検討を進めます。
3. 検討にあたっては、まちづくり懇談会やグループインタビューの開催、まちづくりニュースの随時発行など、より多くの住民の参加が得られる機会の創出と情報提供について、積極的に取り組んでいきます。

<(仮称)まちづくり提案の目的>

「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」を掘下げ、地区住民が目指すまちの将来像として、それぞれが主体となってその実現を図るものとして共有できるよう、より具体的な表現として表す。

【 まちづくり懇談会の位置づけと本日の意見交換の内容 】

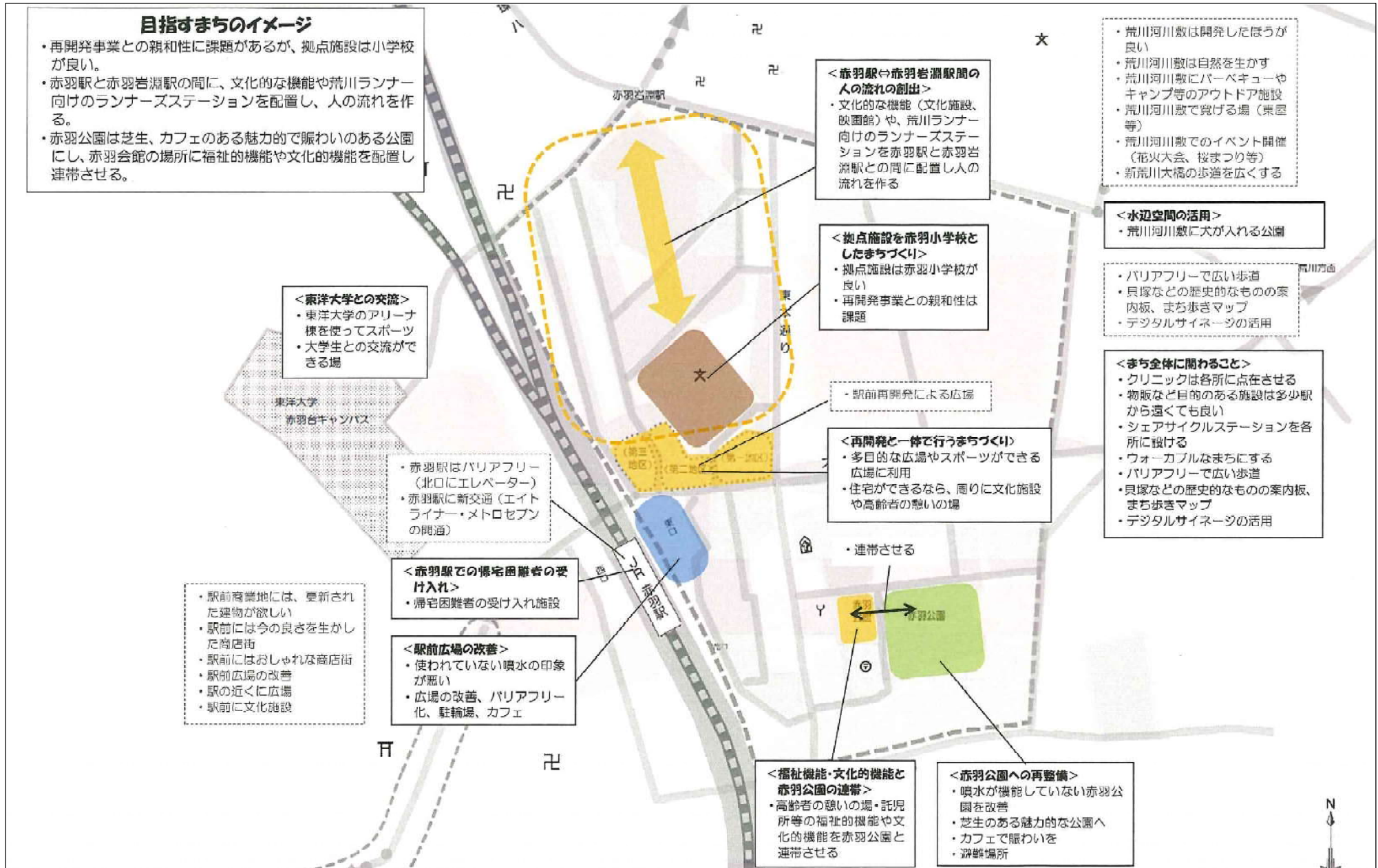


これまで協議会において検討を重ね、(仮称)まちづくり提案をとりまとめていく段階に至っています。本懇談会は最終的なとりまとめの前に、ご意見、ご感想のほか、より良い提案に向けたアイデアなどをおうかがいするための機会です。

お聞きした内容も踏まえ、今夏頃開催予定の赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会総会での公表を目指しています。

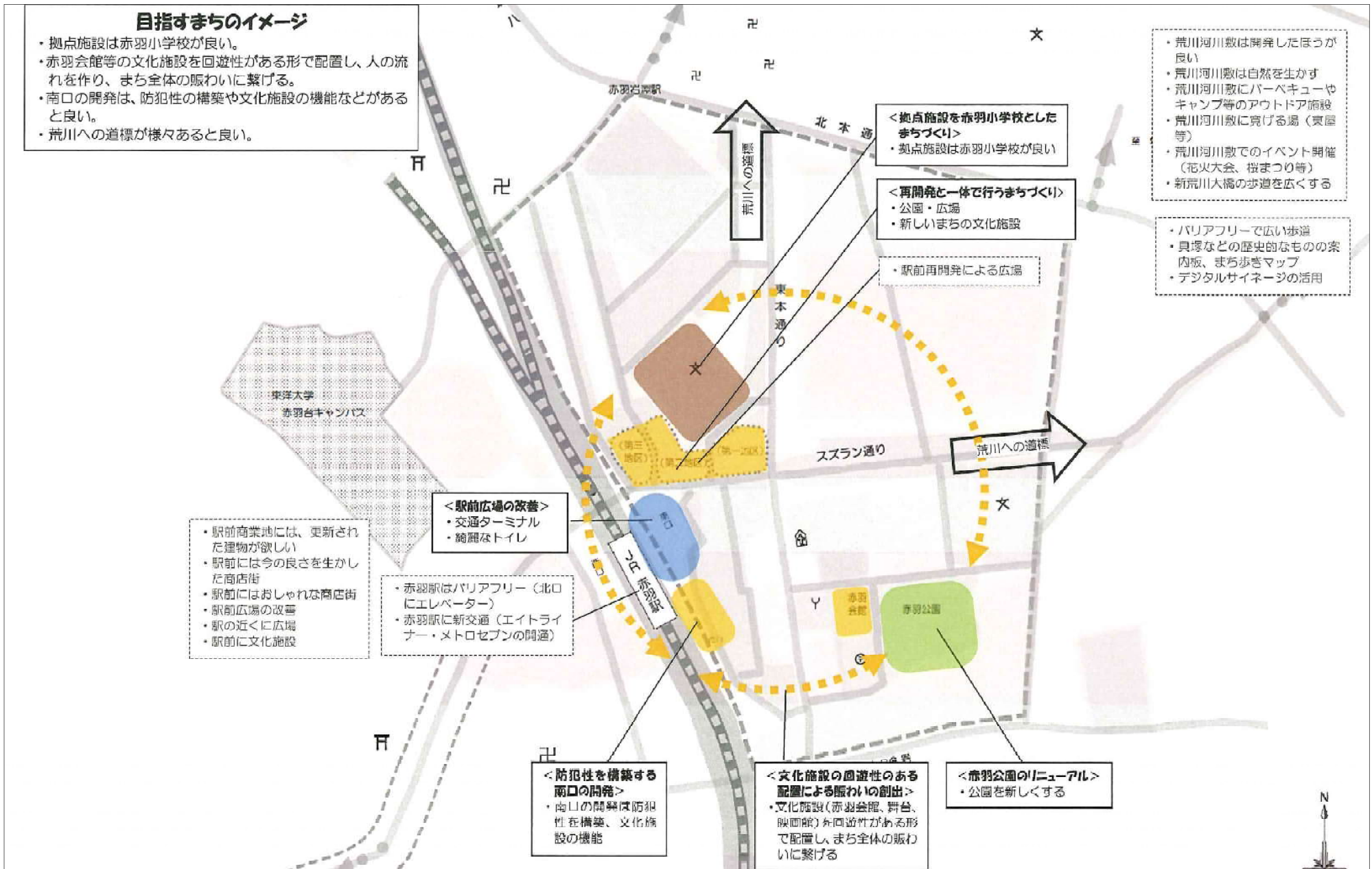
【 幹事会での検討 】

＜ 幹事会ワークショップの成果：パターンⅠ ＞



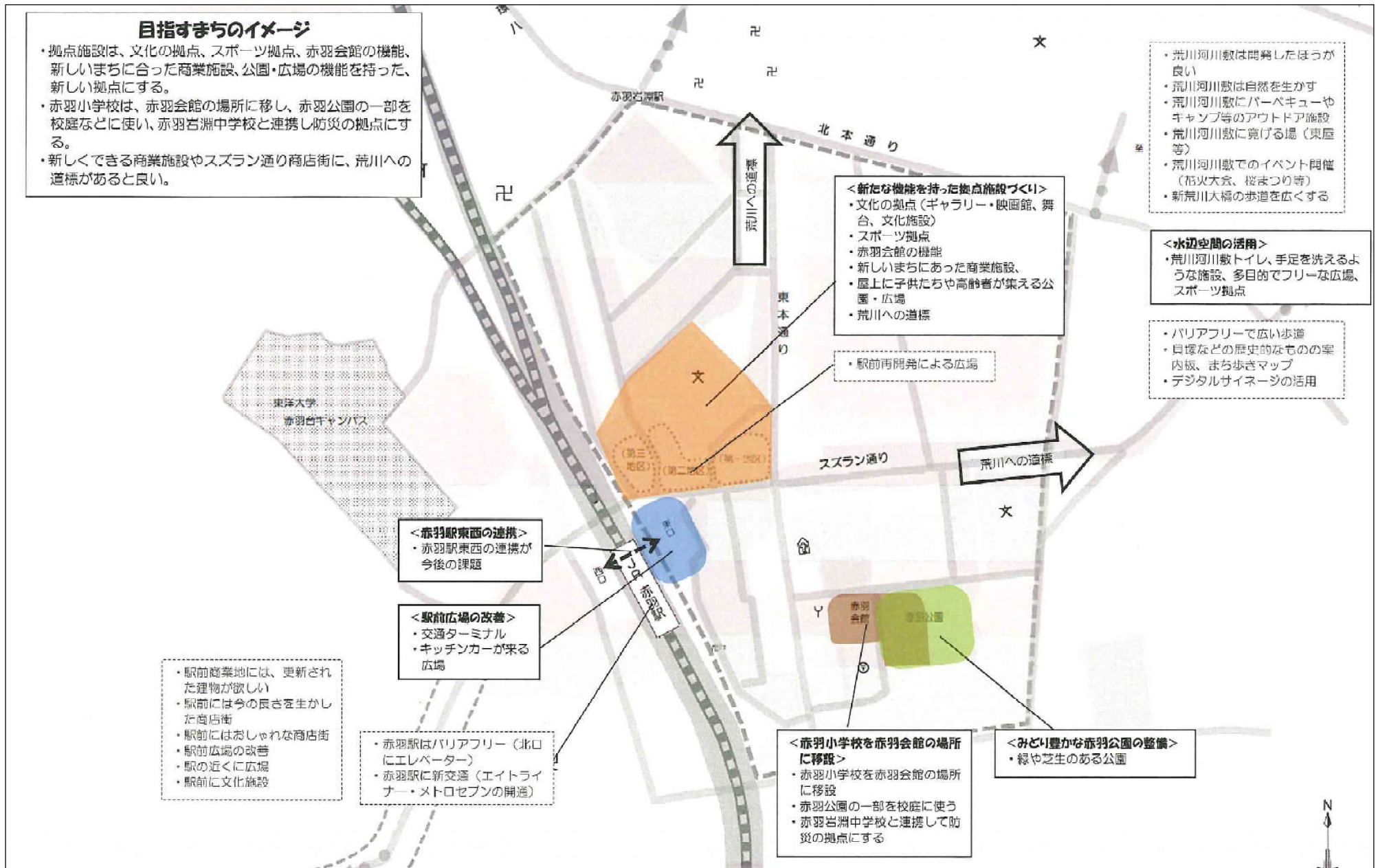
【 幹事会での検討 】

＜ 幹事会ワークショップの成果：パターンⅡ ＞



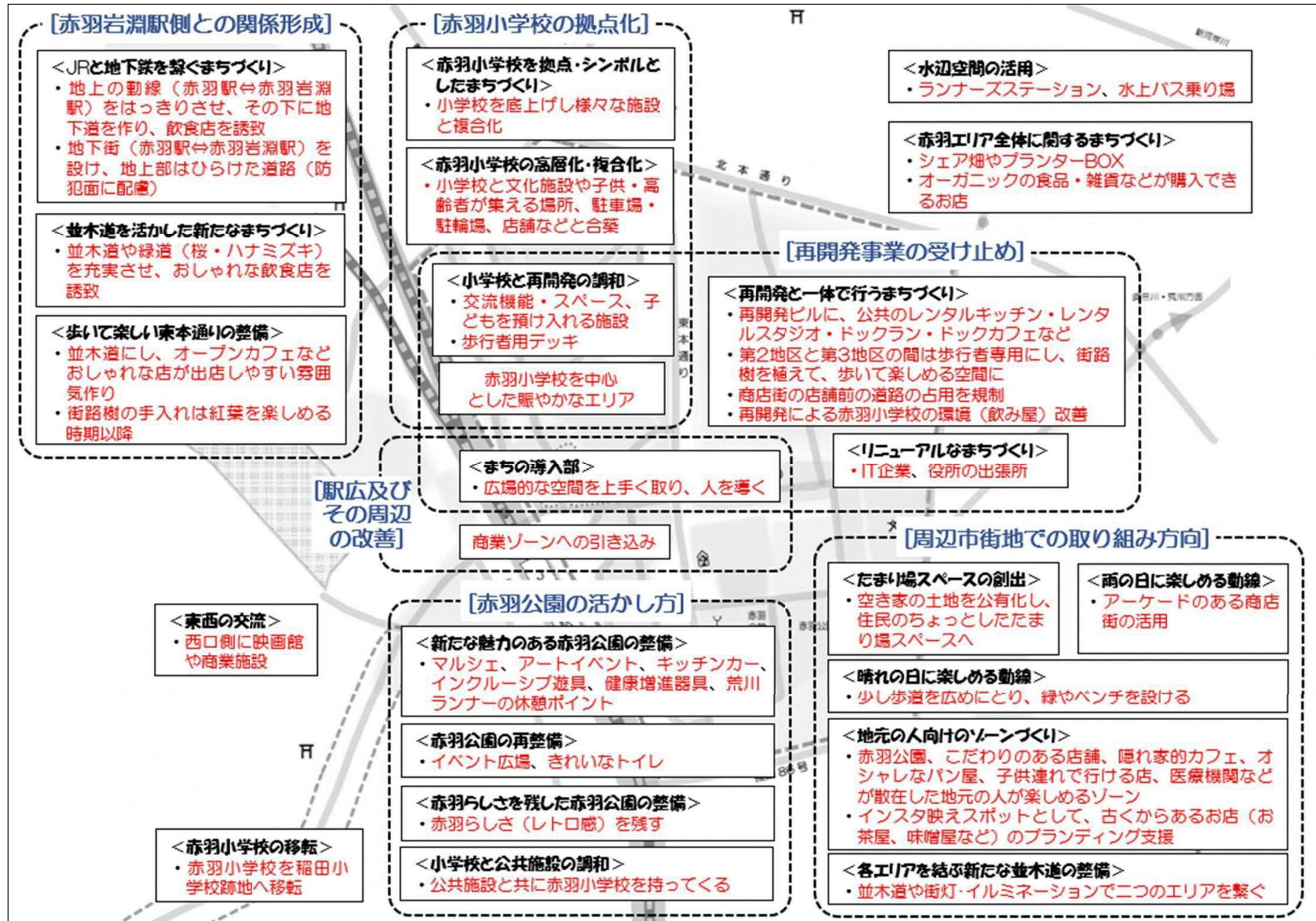
【 幹事会での検討 】

＜ 幹事会ワークショップの成果：パターンⅢ ＞



【 幹事会での検討 】

〈まちづくりワークショップによる新たな意見〉



【幹事会が想定している(仮称)まちづくり提案のサンプルイメージ】

私たち、赤羽駅東口まちづくり全体協議会は、平成27年度に赤羽駅東口の将来のまちづくり像を「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」としてまとめました。

それから8年が経過し、駅前地区での市街地再開発事業など、新たなまちづくりの動きなど、地区周辺を取り巻く環境は大きく変わってきています。

私たち協議会は、この機に、あらためて「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」を、地区住民が目指すまちの将来像として、それぞれが主体となってその実現を図るものとして共有できるよう、より具体的な表現として表すことを試み、ここに「(仮称)まちづくり提案」として、まとめます。

※記載内容について決定したのではなく、今後幹事会での議論を踏まえ取りまとめます。

【幹事会が想定している(仮)まちづくり提案のサンプルイメージ】

「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」において、「地域の拠点施設」として位置づけた、現在の赤羽小学校の敷地付近は、今後も将来に渡り、地区の拠点としての土地利用が相応しいことを再確認しました。

- ◆ 具体的な土地利用にあたっては、赤羽小学校がそのまま存置し続けることが望ましいとの意見が多く出ました。一方で、もしも教育環境への影響が顕著である時は、・・・

(※例：他所への移転も選択肢の一つであることを記述する)

- ◆ また、赤羽小学校が「地域の拠点施設」として一層機能するため、・・・
- (※例：希望することを記述する)

- ◆ 事業化の検討が進む市街地再開発事業は、・・・

(※例：期待することや懸念されることを記述する)

- ◆ 「地域の拠点施設」と赤羽駅を繋ぐ赤羽駅東口の駅前広場は、・・・

- ◆ 赤羽公園・赤羽会館は、・・・

- ◆ 商店街は・・・

- ◆ まちの資源を活用して・・・

- ◆ まちなかの回遊性は・・・

- ◆ その他

※記載内容について決定したのではなく、今後幹事会での議論を踏まえ取りまとめます。

グループワークの進め方

＜今後の地域の拠点施設としてのあり方＞

地域の拠点施設のイメージについて

- 賑わい、魅力向上
- 交流、文化、広場
- 赤羽らしさ

これからの赤羽小学校に求めるもの

- 現在地での建て替え、複合化など
- 児童増加への対応
- 防災性向上への寄与
- 教育環境への影響がある場合は
移転も視野

【 懇談会グループワーク・意見交換の題材 】

＜地域の拠点施設と連動したまちづくりの方向性＞

「地域の拠点施設」と赤羽駅
を繋ぐ赤羽駅東口の駅前広場
について

- ・地域の顔
- ・バリアフリー
- ・交通結節機能向上

赤羽小学校・赤羽公園
・赤羽会館について

- ・更新の必要性
- ・防災性の向上、新たな魅力
づくりに寄与

商店街について

- ・賑わいづくり
- ・小学校とコラボ
- ・赤羽らしさ

まちの資源の活用について

- ・荒川
- ・東洋大学
- ・ナショナルトレセン

まちなかの回遊性について

- ・赤羽駅と赤羽岩淵駅
- ・赤羽駅前と赤羽公園一帯
- ・商店街と住宅地

その他

- ・住宅地には落ち着き
- ・イベント
- ・情報発信

※小項目は、幹事会や各ワークショップで出てきた主なキーワードです

【 グループワークの進め方 】

意見交換

①

「今後の地域の拠点施設としてのあり方」に関して、意見、感想、新たなアイデアなどを付箋に記入。

書いた内容を、一人ずつ順に説明しながら、台紙の該当する項目の枠に貼り込み。

意見交換

②

「地域の拠点施設と連動したまちづくりの方向性」に関して、同様に記入。

同上。

意見交換

③

他参加者の意見を聞いたうえでの、新たな考えなどを記入。

随時、説明しながら、台紙に貼り込み。

発表

出された意見の概要を、グループごとに参加者が発表。
⇒発表を聞いた上での感想、質問、新たな気づきなど自由意見

【 考え、意見を言う場合の心がけ 】

要求・要望や賛成・反対ではなく、「こうするといい・
こういうことも入れたらどうか」など創造的な言葉に

他の人の意見を否定するのはNG
他の人の意見からふくらませていくのは大歓迎

できるだけたくさんの意見を出し合うため、
1回の発言時間は30秒を目安に

発 表